登録番号		プロトコール名							
C56-59		卵巣癌 毎週パクリタキセル+ベバシズマブ療法							
診療科		婦人科			1クールの	日数	28日		
審査日		2014年3月30日	所要時間	200分	適応外値	吏用	□なし ■あり		
適応病名		卵巣癌、卵管癌、腹膜癌			放射線線	療法	■なし □あり		
実施部署		■外来、■病棟、□その他( )							
適応分	類	□初発、■進行・再発、□術後	補助、□術前補助、□超大量、□遺伝子、□その他( )						
番号		抗がん薬名		1日投与量	ł	投与法	投与日(d1、d8等)		
1		パクリタキセル(タキソール	√) •PTX	80mg/m <sup>2</sup>	d.i.v. d1, d8, d15, d2		d1、d8、d15、d22		
2		ベバシズマブ(アバスチン	·バスチン)・Bev 10mg/kg		Ş	d.i.v.	d1 、15		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
エビデンスレベル		■治療(エビデンスレベル □1 ■2 □3 □4 □5 □6 )							
ガイドライン 文献名		Bevacizumab combined with chemotherapy for platinum-resistant recurrent ovarian cancer: The AURELIA open-label randomized phase III trial. Pujade-Lauraine E1, Hilpert F, Weber B, Reuss A, Poveda A, Kristensen G, Sorio R, Vergote I, Witteveen P, Bamias A, Pereira D, Wimberger P, Oaknin A, Mirza MR, Follana P, Bollag D, Ray-Coquard I. J Clin Oncol. 2014 May 1;32(13):1302-8. doi: 10.1200/JCO.2013.51.4489. Epub 2014 Mar 17.							
その他 (減量・増量 規定、プロト コールに関 する補足説 明など)		適応外使用:ベバシズマブの卵巣癌での適応は1回15mg/kg3週後毎のため。							
プロトコールに関する解説									
プロトコールに関する解説はありません。									

## がん化学療法処方

	1クールの日数			
卵巣癌 毎週パクリタキセル+ベバシズマブ療法			28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間	
day8、22	<ul> <li>生理食塩液50ml(プライミング用)</li> <li>アバスチン注10mg/kg+生理食塩液100mL 初回は90分、2回目60分、3回目以降30分で投与可 生理食塩液50ml(フラッシュ用)</li> <li>デキサート13.2mg+ガスター20mg+生食50mL 点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服 生食100mL         <ul> <li>パクリタキセル注 80mg/m2+生理食塩液250ml</li> <li>生理食塩液50ml(フラッシュ用)</li> </ul> </li> <li>デキサート13.2mg+ガスター20mg+生食50mL 点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服 生食100mL</li></ul>	点点 点点点 点 点点点滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴滴	一分 5分分 300分 5 10 300分 5 10 300分 5 10 300分 5 10 5 10 5 10 5 10 5 10 5 10 5 10 5	
プロトコール 適応時 表示コメント	前投薬としてレスタミン錠10mgを5錠内服 ※適応は、卵管癌・腹膜癌を含む 適応外使用:ベバシズマブの卵巣癌での適応は1回15mg/kg3週後毎のため。			
照射併用時 照射線量	グレイ(備考欄:		)	